

表1 GERDが関与すると思われる慢性咳嗽の特徴

1. 胸焼け、呑酸を伴う
2. LES(下部食道括約機構)圧低下を招くチョコレート、カフェイン、アルコール、高脂肪食を摂った後に咳嗽が悪化する

表2 GERDが関与すると思われる喘息の特徴

1. 非アトピー性
2. 主に夜間に発作が悪化する
3. 食後症状が悪化する
4. 喘息治療に抵抗性である
5. 胃酸分泌を抑制することにより症状が改善する
6. キサンチン製剤などの投与により症状が悪化する